

『神のみこころを捉えるには 一御霊の導き』

使徒の働き 8:26～40

御霊がピリポに「近寄って、あの馬車といっしょに行きなさい」と言った。(29節)

序]

中高生の部活動、受験、就職、結婚、直接献身など、「神のみこころ」はどのようにしてつかむのか。今朝は、使徒の働きの数か所を開く。

本]

I 御霊が導かれる方法

①積極的な印象を与えることによって。(8:29)(13:1,2)

聖霊は、ピリポに対して「行きなさい」 アンテオケの教会のメンバーに対して「二人を任務につかせなさい」と言われた。「御霊が言われた」とは、神秘的に考える必要はない。彼らは、何らかの強烈な一つの衝動に捕えられ、そのための行動を起こすように、直感的に促されたのだと思う。

②消極的な印象を与えることによって。(16:6,7)

「聖霊によって禁じられた」「イエスの御霊がお許しにならなかった」これも神秘的に考えてはいけない。彼らなりに手を尽くしたが、道が閉ざされたのだろう。

この方法の場合、a,完全なストップ b,引き延ばし～「少し待ちなさい」 c,別の方向に転換させる(16章ピリピ伝道)

③合理的な結論に導くことによって。(16:10)

パウロたちは道が閉ざされたので、尽力していたところが、陸の端まで来た。御霊は「海を越えるように」と幻でパウロの心に示された。

II 御霊が導かれる手段

①聖書 ②良心 ③摂理

*御霊は、これらの手段を通して、私たちに「神のみこころ」を示される。

III 御霊の導きを得る条件

我らとしては、どのような心構えで臨むならば、御霊は神のみこころを示されるか。

①静まって、求めて、待つ。(13:2,3)

アンテオケ教会のメンバーは「主を礼拝し、断食していた」我らも、神のみこころを求めて祈る時間を取らなければならない。

②いつでも心にオープン・スペースを設けておく。

我らは忙しすぎないか。我らは自分の思想・哲学にこだわりすぎないか。神は、あらゆる方法によって、あらゆる手段によって、ご自身のみこころを示される。聖書を読んでいる時だけではない。礼拝や諸集会の場所においてしか語られないのではない。我らが求めて、心を広げて待つならば、必ず、みこころを示して下さるのが神様である。

結]

これからの将来、セカンドライフ、老後のために、祈っている兄弟姉妹がおられると思う。偉大な神の、壮大なご計画が、すべての信仰者に用意されている。問題は、その御霊のサインを見逃さず、聞き逃さないこと。聖霊は我らにとってリーダーである。このお方の導きに従って生活しよう。